

キッズみんなの日記

11月号

ぐんと気温も下がり、一気に冬の到来を感じさせる今日この頃ですね。紅葉も一気に加速しそうです。

さて、**キッズみんなの日記**も気づけば、発行を始めて三年が過ぎました。初めの一年はメキメキと腕を上げ、私たち大人には思いもよらない発想で文章を書きあげるみなさんに、ただ感心するばかりでした。三年経った今も尚、個性あふれる文章に学ぶことが多く新鮮な気持ちで編集に取り組んでいます。皆さんも是非、優秀作品の「題材選び」「技法」「気持ち」を伝えるテクニックなどを参考にしながら日記を書いてみてください。いつものとは違った視点で物事をとらえることができておもしろいのではないのでしょうか。

優秀作品紹介

★印象に残ったことを上手に切り取る

えんそく

きょうは、うえのどうぶつえんへ えんそくにいききました。ぼくがいちばんのしかつたのは、らいおんがにくをたべているところがみられたことです。おべんとうもとてもおいしかったです。

えんそくは、とてもたのしいひでした。(小一・YS君)

結こん記念日

今日は、お父さんとお母さんの結こん記念日で、お父さんのたん生日でもあります。

しかも、結こんして、十年なので記念に、おばあちゃん、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんと一緒に食事に行きました。

そこで、私と妹が花束を渡し、ひいおじいちゃんが「すずこん式」と書いたしき紙を渡しました。お父さんもお母さんも、とてもよろこんでいました。ずっと仲良しでいてほしいです。(小三・KYさん)

結婚記念日の説明、お祝いの様子がとてもわかりやすいですね。結婚記念日がお父さんの誕生日だというのも素敵です。ずっと仲良しでいてほしいというYちゃんの温かい言葉、何よりのお祝いですね。幸せな気持ちになりますよ。

★★出来事にユーモアをプラスして★

私の足

このあいだ、皮膚科に行きました。なぜかというど、私の足に魚の目(いぼ)ができていますからです。でも、先生が「今日で終わりです。」と言ったのでちよとうれしかったです。

しかし、な、な、なんと、となりの指に新しい魚の目がうつっているではありませんか!! 新しい魚の目が発見されたので、来週も行かないといけなくなってしまうました。本当はこのままじゅんちようにいけば、今日で終わっていたのに、と思いましたが、悲しかったし、来週も皮膚科に行くなんてやだなと思いました。

今度こそ来週になおるようにしんじて、いたいのをがまんしたいと思います。(小三・WMさん)

★☆☆気持ちの変化を生き生きと☆☆☆

頭痛

十月十五日は学校がありました。しかし、ぼくが、「頭が痛いよう。」と母に言ったら、学校の先生に頭痛で休むことを連絡してくれました。

そのまま、ぼくは薬を飲んでベッドで寝てしまいました。起きたときはもう四時でした。学校の友達とも遊べないし、たいていで残念でした。

夕方、風君が宿題を持ってきてくれました。その後、宮脇先生からくわしく電話あつてうれしかったです。一日が長く感じました。(小五・NY君)

学校を病欠したことがある人なら、誰もが感じるであろう感情をY君自身の言葉で素直に表現していますね。休むと健康な体、何気なく通っている学校、友だちや先生の優しさ、色々なありがたさが身にしみますよね。

シャトルラン

今日は、シャトルランをやりました。去年は、八十四だったので、九十こえをしたいです。そして、一番目の人が始まりました。その人は、三十分くらいでした。

そして、ぼくの番が来ました。ぼくは、五十分くらいは案だつたけれど、七十くらいからつらくなっていききました。それでもがんばりました。そうしたら、九十八までいけました。うれしかったです。(小六・H君)

陸上部

九月から始まって一ヶ月。僕は足が速くなれるようにいっしょうけんめいがんばってきました。

九月二十九日、久しぶりの陸上部でタイムが上がるかなあと心配でした。最初は基そから練習して、むかえたタイムを計るとき、とても緊張しました。でも、走つてみたら、二六、二二秒からなんと二五、二五秒に上がりました。

僕はその時とてもうれしかったです。これからも頑張っていきたいなと思いました。(小六・YR君)

「心配」→「緊張」→「喜び」と実に見事に気持ちの変化を表現していますね! R君の一ヶ月間の努力が実つて良かったですね。最後の段落は良い結果が出たことを受け、前向きな気持ちで文を締めくくったところも上手いですね!

伊藤先生のおすすめ本

★初級者★

王様と九人のきょうだい

岩波書店 赤羽末吉 イラスト・君島久子 翻訳

9人の兄弟が成長したとき、王様が無理難題をふっかけられます。この難題を兄弟それぞれが変な方法でそれぞれの個性で乗り越えます。中国の民話です。

★★中級者★★

小さい魔女

学研

ホフマン・ブライナー 作・大塚 勇三 訳

12才の新米魔女。よい魔女になるうと修行に励むが失敗ばかり…。そぞろがひい魔女の、明るくてユーモラスな物語。

★★★★上級者★★★★

ふたりのロッテ

岩波文庫 I-北 けい 著・池田 香代子 翻訳

お互い知らずに他の町で育ったルーゼとロッテ。ある夏スイスの林間学校で2人は偶然出会う。父と母の秘密を知った2人は別れた両親を仲直りさせるために大船を計画をたてるのです…。